



医療安全通信 第74号

【薬局部医療安全委員会】

医療安全推進のため、Pharma Bridgeを通じて、医療安全上の周知すべき情報やタイムリーな話題を随時発信いたします。業務手順書の書換えや日常業務にお役立てください。

インフルエンザ患者への注意喚起の徹底について

厚生労働省では、インフルエンザ罹患時の異常行動についての注意喚起資料を作成し、都道府県等を通じて医療機関等への注意喚起の徹底を依頼しています。(令和元年11月21日付 薬生安発1121第2号) <https://www.pmda.go.jp/files/000232371.pdf>

医療安全通信第56号(2018年12月4日発行)、第44号(2017年11月30日発行)でもお伝えしていますが、**インフルエンザ患者では、抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無又は種類にかかわらず、飛び降りなどの異常行動が発現する**ことがあり、これらの異常行動の結果、転落等による**死亡事例**も2009年4月から2019年8月末までに**13件**報告されています。転落等の事故に至るおそれのある重度の異常行動は**就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多く(女性でも発現する)、発熱から2日間以内の発現が多い**ことが知られています。

異常行動の例



- 突然笑い出し、階段を駆け上がろうとする
- 自宅から出て外を歩いていて、話しかけても反応しない
- 変なことを言い出し、泣きながら部屋の中を動き回る など

転落等事故 防止対策 例

- **玄関**や全ての**部屋の窓の施錠**(内鍵、チェーンロック、補助鍵の活用)
- **ベランダに面していない部屋**で寝かせる
- **窓に格子のある部屋**で寝かせる
- **1階**で寝かせる(一戸建ての場合)

!! 事故を防止するために !!

インフルエンザで自宅療養する場合、少なくとも発熱から2日間は、**左記の対策**を講じるよう**保護者等に注意喚起**しましょう。

- ◆ 厚生労働省ホームページの資料も活用しましょう
 - ・ 令和元年度 今冬のインフルエンザ総合対策について <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>
 - ・ 厚生労働省 令和元年度インフルエンザQ&A <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>
 - ・ インフルエンザ対策 啓発ツール <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/keihatu.html>



旭川薬剤師会公式サイトに医療安全通信のバックナンバー、掲載資料や参考資料も掲載しています。